



二葉だより

www.sumida.ed.jp/futabasho/

平成28年7月20日

No. 5

墨田区立二葉小学校

「ぐんぐんのびの夏 体験と思考と継続」

校長 水谷 光一

先月の末から5年生は粟野で、今月の2週目に6年生は日光で、それぞれ学習してきました。5・6年生の子供たちは、虫がいると怖いようでキャーキャー大騒ぎでした。映像のゲームで、バーチャルな激しい体験をしているように思うのですが、虫との戦いの方が、ゲームのバーチャルな戦いよりインパクトがあるようです。東京の町の自然の体験の少なさを、現実の体験の大事さを改めて思います。

移動教室では雄大な自然をたっぷり堪能でき、たくさんのことを学びました。戦場ヶ原では、「イブキノトラノオ」(タデ科)がたくさん咲いていました。いい匂いと思い、花においも嗅いでみましたが実はくさいものでした。辛い蓼を好んで食う虫もある『蓼食う虫も好き好き』とことわざも学びながらネイチャーガイドの人と歩きました。途中で樹がたくさん倒れていて、その樹の上に新芽が出ていました。樹の上に芽を出すことで、新しい芽は、日が当たりやすく、倒れた木から栄養をもらい、その表面に生えたコケから水分を供給され育つのだそうです。これを『倒木更新』と言うのだそうです。

また、移動教室では、少しの待ち時間が生まれる時があります。自然の原っぱで、自由時間としたときがありました。トンボとり、ちょっとした坂を利用した鬼ごっこなど、子供たちは、まあ、よく遊ぶこと。子供たちにとっての自然の中の自由時間は、大人が価値あるものだから見せたい、経験させたいという時間より、自分で頭を使い工夫し、体を使って活動できる有意義な時間になることもあることを思いながら、生き生き遊ぶ子供たちを見ていました。

二葉小学校の屋上には、アサガオ、ハウセンカ、ミニトマト、トウモロコシ、ピーマン、インゲン、キュウリと花や夏野菜がぐんぐんと伸びています。夏は子供たちにとってもぐんと成長するチャンスです。それは、日ごろと違う体験、経験ができるからです。また、思考できる自由な時間があるからです。その思考や経験を継続させることもできます。まさに、夏休みは子供たちにとって「ぐんぐんのびる時間」です。

さて、明日から夏休みです。年度当初に立てた様々なめあてや目標、約束事などはどうだったのでしょうか。学習面や生活面でなかなか目に見える結果が出なかったと、振り返るご家庭があるかもしれませんが、子供たちの成長には、身体の成長や漢字・計算等のように目に見える成長と、目には見えにくい内面的な成長があります。そういった内面的な成長も大切にしつつ、頑張ったことについては、大いに認め、誉めてあげて、夏休みを「体験・経験」「自由なのびやかな思考」「継続」をキーワードに充実させてほしいです。

8月は家庭学習月間です。

「体験・経験」「自由なのびやかな思考」「継続」をキーワードに学んでほしいです。本を使った調べる学習もおもしろいです。夏休みでなければできない目的をもった家庭学習をしてほしいです。夏季休業中の学校のプールの参加もお願いします。